

2015.6.8

2015年3月期 決算説明会

CODE : 4275



カーリットホールディングス株式会社

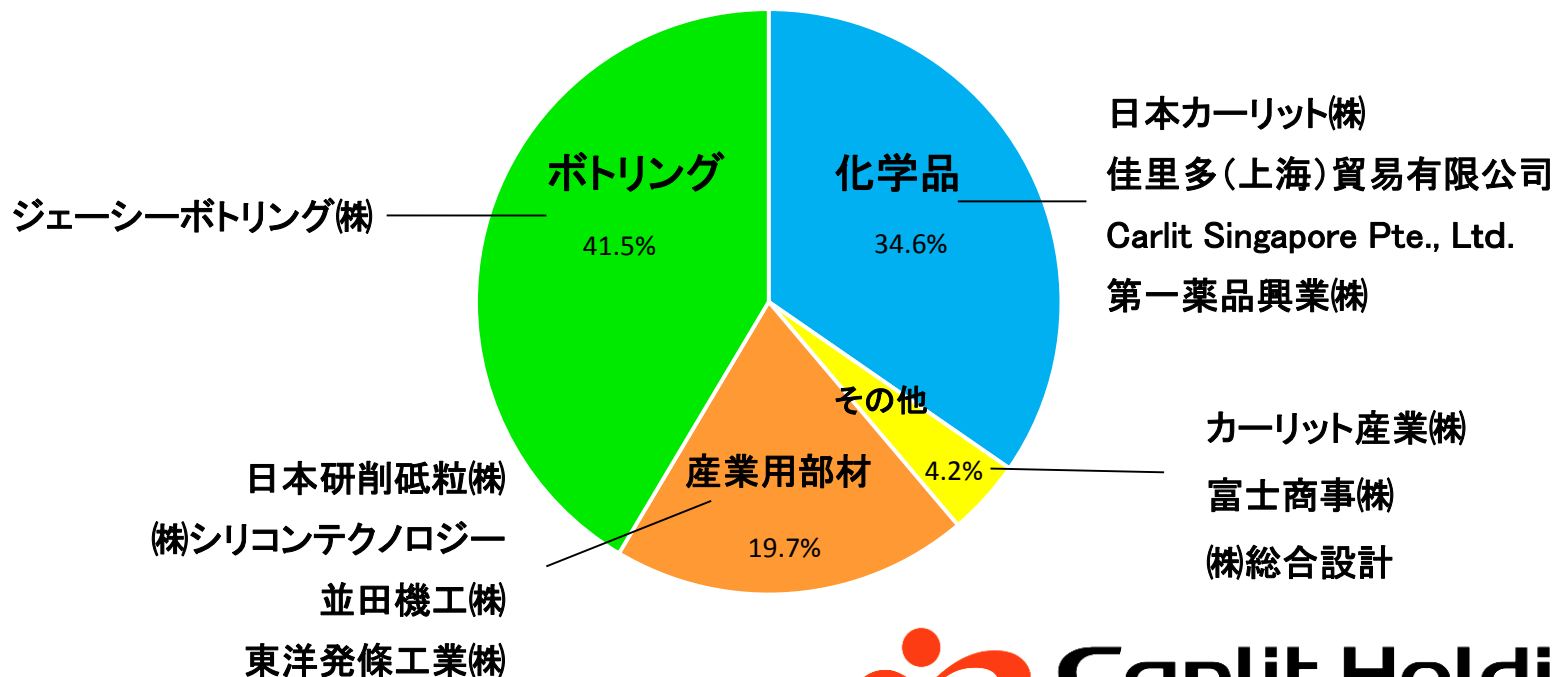
<http://www.carlithd.co.jp>

会社概要

本 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号	代表者	代表取締役会長兼社長 出口 和男
創 業	1918年	設 立	2013年10月1日
資本金	1,204,600,000円	従業員数	連結 934名
発行済株式数	20,600,000株 (1単元100株)	単元株主数	21,127名

(2015年3月31日時点)

<2015年3月期売上構成比>



2015年3月期

決算概要



(単位:百万円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	前年同期 差異	前年同期比
売上高	39,834	46,109	+ 6,274	+ 15.8%
売上原価	33,671	39,288	+ 5,617	+ 16.7%
	84.5%	85.2%	+ 0.7pt	
販売費及び一般管理費	4,569	5,621	+1,052	+ 23.0%
	11.5%	12.2%	+ 0.7pt	
営業利益	1,594	1,199	△ 394	△24.8%
率	4.0%	2.6%	△1.4pt	
経常利益	1,677	1,317	△ 359	△ 21.5%
率	4.2%	2.9%	△1.3pt	
純利益	1,251	1,064	△ 187	△14.9%
率	3.1%	2.3%	△ 0.8pt	

売上高：日本カーリット化学品増販、東洋発條工業・総合設計連結寄与、並田機工増販。

営業利益：電池試験所・危険性評価試験が利益予算未達、ボトリング事業減益。

決算概要

<セグメント別>

(単位:百万円)

	売上高				営業利益			
	2014年 3月期	2015年 3月期	差異		2014年 3月期	2015年 3月期	差異	
化学品	15,042	16,411	1,368	+9.1%	851	372	△478	△56.2%
ボトリング	19,123	19,113	△10	△0.1%	366	154	△211	△57.7%
産業用部材	5,073	9,151	4,078	+80.4%	221	451	229	+103.5%
報告セグメント計	39,239	44,675	5,436	+13.9%	1,439	979	△460	△32.0%
その他・消去	595	1,433	837		155	220	65	
連結合計	39,834	46,109	6,274	+15.8%	1,594	1,199	△394	△24.8%

化学品：塩素酸ナトリウム・導電性高分子材料増販。電池試験は試験設備導入遅れ、危険性評価試験は長期契約の減少により減益。

ボトリング：缶コーヒー消費の減少、自社工場生産品の減少、エネルギーコスト上昇により減益。

産業用部材：東洋発條工業の通期売上・利益計上、並田機工の耐熱金物の震災復興需要により増収増益。

(単位:百万円)

	2014年 3月31日	2015年 3月31日	差異		2014年 3月31日	2015年 3月31日	差異
資産の部				負債の部			
現預金	3,359	2,888	△ 471	仕入債務	4,890	5,774	883
売上債権	8,212	9,976	1,764	有利子負債	9,386	9,776	389
棚卸資産	3,530	3,932	402	その他負債	10,241	8,824	△ 1,416
その他流動資産	1,903	1,434	△ 469	負債合計	24,518	24,374	△ 144
有形固定資産	19,173	18,574	△ 599	純資産の部			
無形固定資産	941	754	△ 187	株主資本	17,167	17,765	598
投資その他	6,403	7,439	1,036	その他の包括利益 累計額等	1,837	2,858	1,021
				純資産合計	19,004	20,624	1,619
資産合計	43,523	44,999	1,475	負債純資産合計	43,523	44,999	1,475

決算概要

<連結キャッシュフロー>

(単位:百万円)

	2014年 3月期	2015年 3月期
営業活動による キャッシュ・フロー	1,829	968
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,678	△ 1,176
財務活動による キャッシュ・フロー	2,411	△ 289
現金及び現金 同等物の増減額	615	△ 454
現金及び現金 同等物の期首残高	2,726	3,341
現金及び現金 同等物の期末残高	3,341	2,886

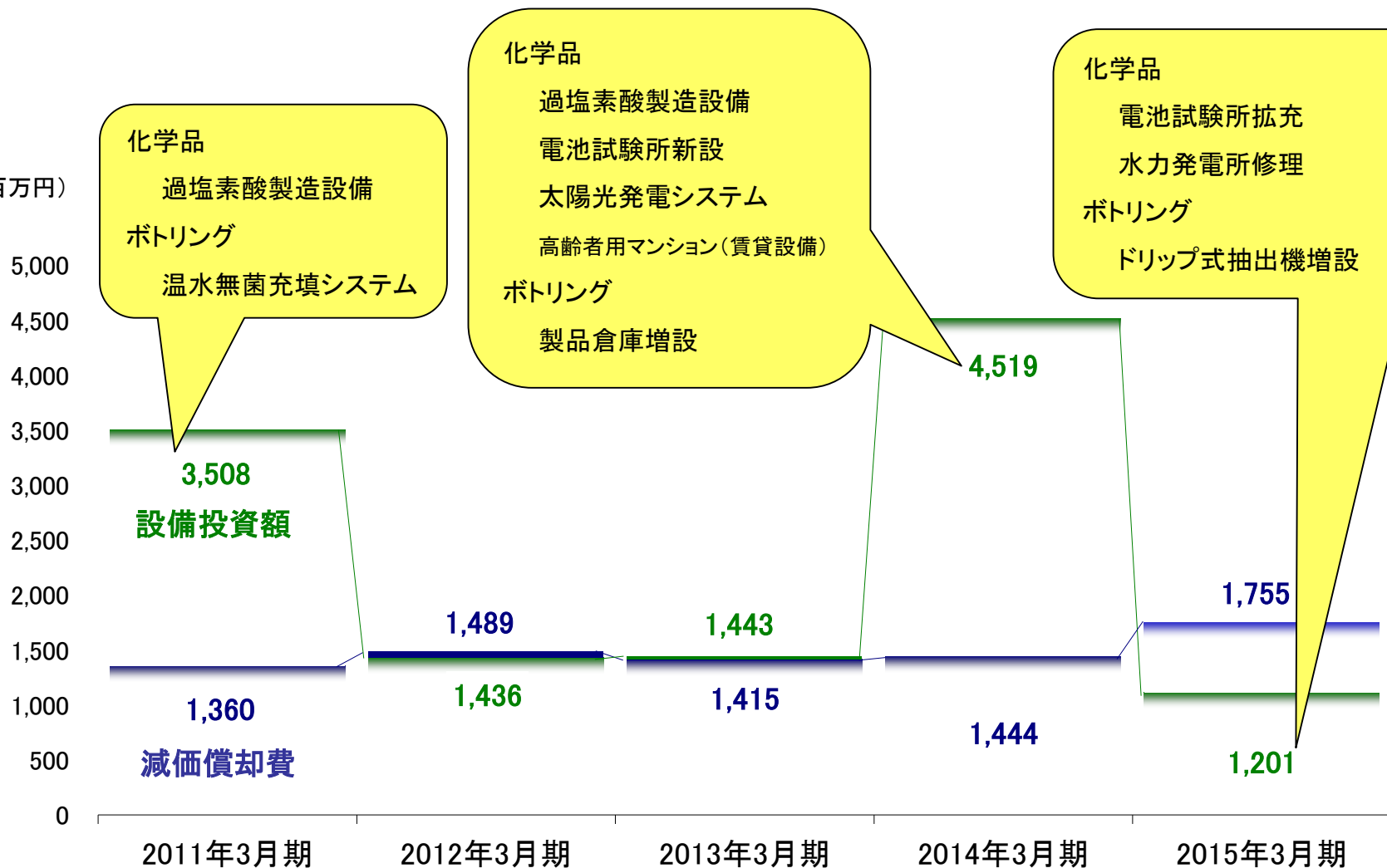
償却前利益 35億円
 運転資金増 △14億円
 法人税等の支払い △11億円

自己株式取得による支出 2.59億円

決算概要

<設備投資額&減価償却費 推移>

(単位:百万円)



トピックス

2014年

4月

6月

ホールディングス設立 **記念配当実施**

日本カーリット(株)との間で**吸収分割**

関係会社及び不動産等管理業務に係る
権利義務を当社に移管

二次電池充放電試験所本格稼働



充放電試験装置

保土ヶ谷工場の**跡地売却**

固定資産売却益 278百万円

2015年

12月

1月

3月

東証の**貸借銘柄**に選定
株式の流動性を高める

自己株式を取得

382,500株(取得価額 259百万円)
株式価値の向上を図る

2016年3月期

業績予想



(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 通期予想	前期差異	前年比
売上高	46,109	47,000	+ 891	+ 1.9%
営業利益	1,199	1,300	+ 101	+8.4%
率	2.6%	2.8%	+ 0.2pt	
経常利益	1,317	1,400	+ 83	+6.3%
率	2.9%	3.0%	+ 0.1p	
純利益	1,064	800	△ 264	△ 24.8%
率	2.3%	1.7%	△ 0.6p	

売上高：取引先の会計処理変更によりボトリング事業で20億円減となるが、他セグメントで補い、増収を図る。

営業利益：原価低減により、増益を図る。

業績予想

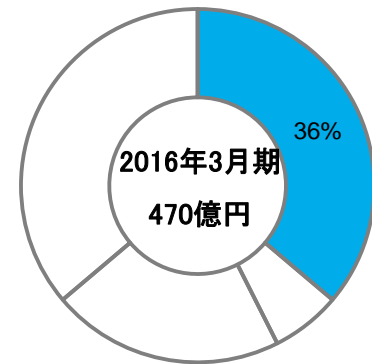
＜セグメント別予想＞

(単位:百万円)

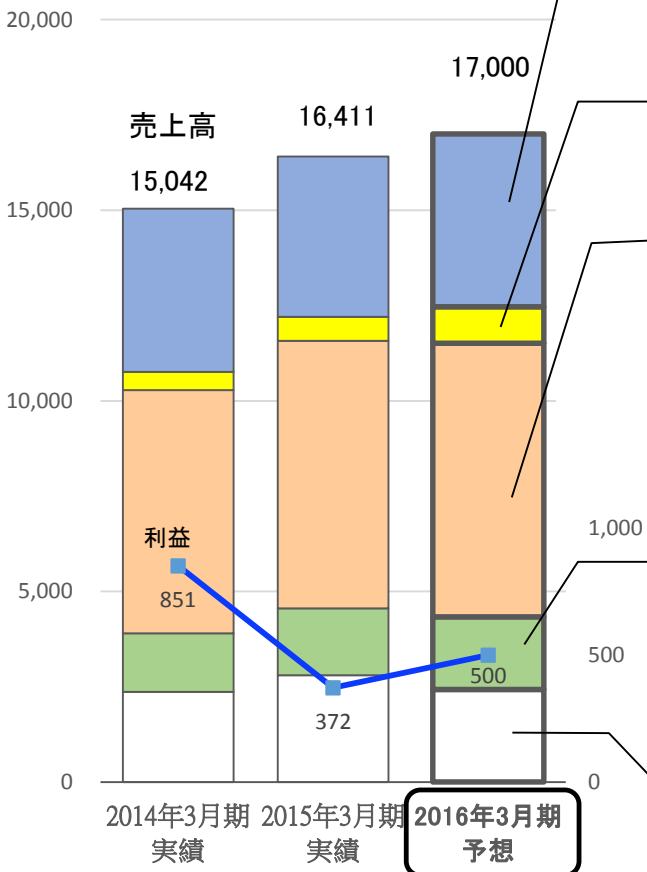
	売上高				営業利益			
	2015年 3月期実績	2016年 3月期予想	差異		2015年 3月期実績	2016年 3月期予想	差異	
化学品	16,411	17,000	+589	+3.6%	372	500	+128	+34.1%
ボトリング	19,113	17,000	△2,113	△11.1%	154	300	+146	+93.7%
産業用部材	9,151	10,000	+849	+9.3%	451	400	△ 51	△11.5%
報告セグメント計	44,675	44,000	△ 675	△ 1.5%	979	1,200	+221	+22.5%
その他・消去	1,433	3,000	+1,567	+109.3%	220	100	△ 120	
連結合計	46,109	47,000	+891	+1.9%	1,199	1,300	+101	+8.4%

セグメント別

<化学品事業>



(百万円)



化薬分野

- 産業用爆薬…アンホ爆薬堅調(砕石用途)
- 信号用火工品(発炎筒関連)…新製品上市

受託評価分野

- 電池試験…新規(自動車向け)電池試験の本格稼動

化成品分野

- 過塩素酸アンモニウム…H-IIロケットの打上げ増
- 過塩素酸…輸出拡大(東南アジア向け)
- 電極…海外向け海水電解用の需要増
- 塩素酸ナトリウム(紙パルプ漂白剤向け)

電子材料分野

- 電子材料…チオフェン系コンデンサ用固体電解質原料
- 機能性材料…熱線遮蔽フィルム(海外向け自動車窓用)

その他

- 海外販社…取り扱い品目の拡大



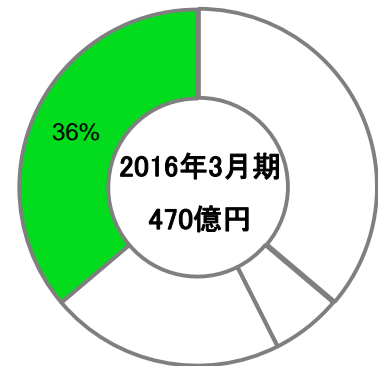
発炎筒ラインアップ



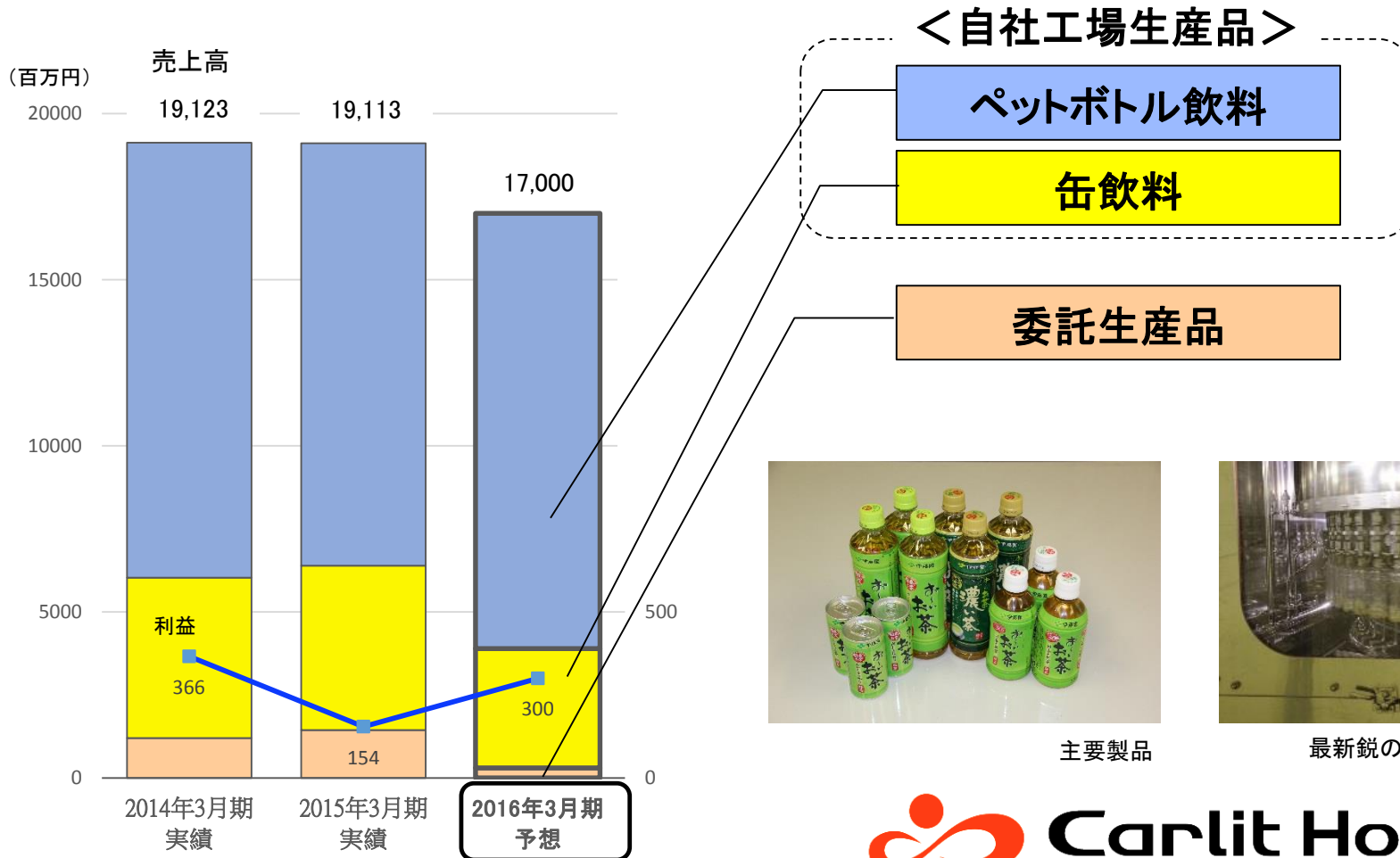
熱線遮蔽フィルム

セグメント別

<ボトリング事業>



一部取引先の会計処理変更により売上減となるが、生産増により増益
 自社工場生産品の生産増とコスト削減により、収益改善



主要製品

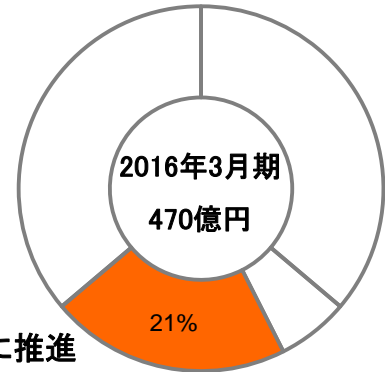


最新鋭の温水無菌充填システム

(NSライン)

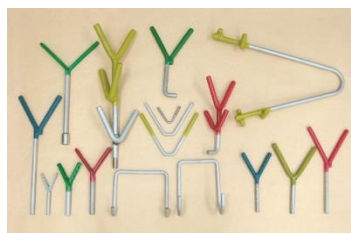
セグメント別

<産業用部材事業>



金属加工分野

並田機工…震災需要が一段落するが、海外展開を積極的に推進
東洋発條工業…建機向けは低調だが、自動車向けの新規取引を拡大



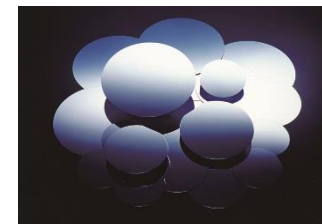
アンカーメタル(耐熱炉内金物)



平座金

シリコンウェーハ分野

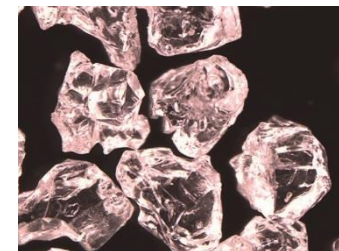
アジア圏を中心に海外拡販及び
周辺新規製品の上市により増販



シリコンウェーハ

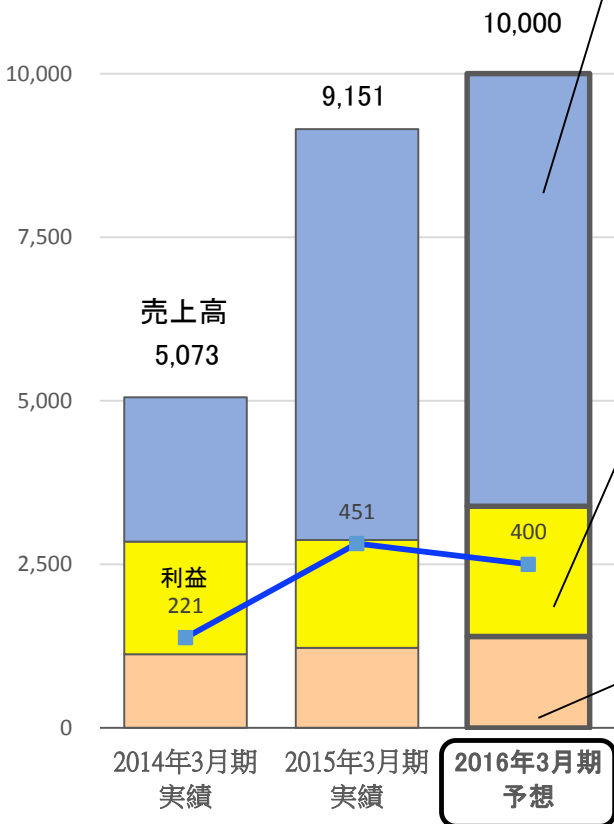
研削材分野

輸入コスト増を増販で補う



サクラダムWA

(百万円)



「礎 100」

<コンセプト>

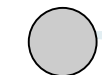
新中期経営計画

「礎 100」

次の100年へ

浅野総一郎により

創業開始



1918年

現在

2015年

創業100周年

2018年

10年以内

中長期目標（目指す姿）

2024年度までに

売上高1000億円企業となる

テーマ

- ①2018年の創業100周年を迎え、更に次の100年企業の礎となる事業基盤の確立
- ②グループ中長期目標(売上高1000億円)到達への道のりを確固たるものにする

「礎 100」

＜数値目標に向けての施策＞

売上高

650億円

営業利益率

5%

営業利益

35億円

設備投資計画

200億円（4年間合計）

成長
基盤
強化

新商品・新規事業

高エネルギー分野
環境エネルギー分野
ライフサイエンス分野
無機機能材料分野

周辺・注力事業

推進薬原料増設
新電極
機能材料
総合安全評価試験
ボトリング

既存事業

インフラ整備
既存商品のコスト削減
高付加価値製品の拡販

収益
基盤
強化

①新商品・新規事業創出

②海外市場開拓・海外生産拠点

①コスト削減での領域拡大

②従来技術の深堀と新材料の融合

2015～2016年度

120億円

新商品・新規事業

50億円

周辺・注力事業

30億円

既存事業

40億円

ロケット推進薬材料

次世代電池材料

蓄電デバイス用電極

化粧品原料、食品添加物

サーモグラフィー用光学材料
(結晶系)

推進薬原料

電池試験ライン拡張

総合安全評価試験所新設

海外生産拠点の確保

水力発電所更新



2017～2018年度
80～100億円

新商品・新規事業
40億円

周辺・注力事業
40億円

既存事業
10億円

ロケット推進薬材料
(液体、ガス発生材)

次世代電池材料(電極、電解液)
蓄電デバイス

ヘルスケア材料

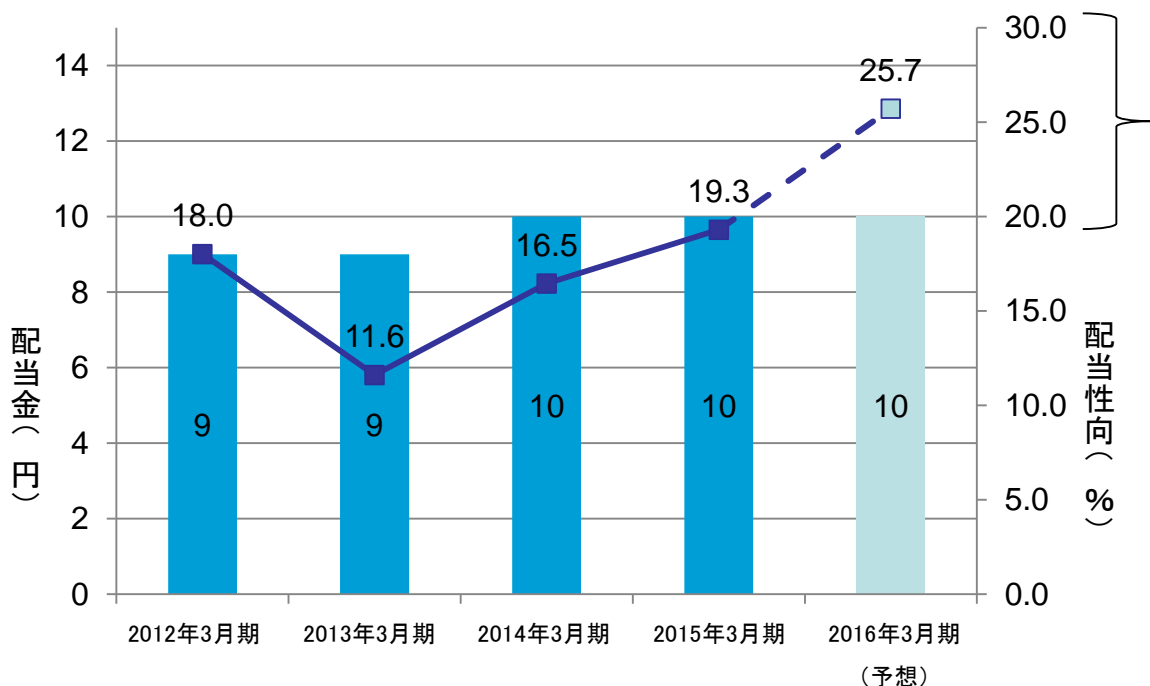
サーモグラフィー用光学材料
(複合材料系)

ボトリング新ライン
電池試験所増設

更新・補修

- ・経営環境、業績、将来の事業展開等を総合的に勘案して利益配分を実施
- ・内部留保金については、経営基盤の強化、研究開発等に有効活用

■ 株配当(左軸) ■ 配当性向



連結配当性向 目標値=20~30%

＜トピックス＞

自己株式の取得

期間：1月7日～2月4日

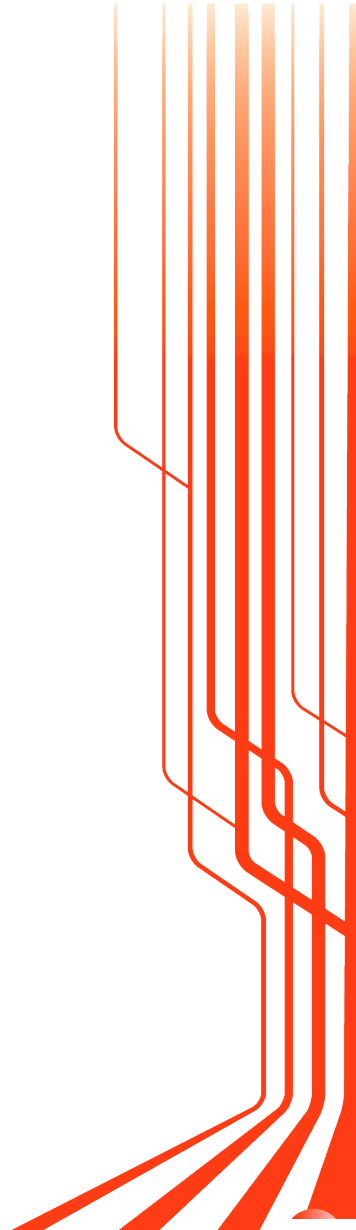
取得した株式の総数：382,500株

取得価額総額：259百万円



Carlit
Holdings

信頼と限りなき挑戦



IRに関するお問合せ先：
カーリットホールディングス株式会社
広報部

電話：03-6893-7060
メール：pr@carlit.co.jp

本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2015年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。